

## 特定非営利活動法人 Global Bridge Network 令和6年（2024年）度 事業活動報告書

1. 活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日

### 2. 事業活動の要旨

昨年度に引き続きウガンダで実施していた「生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業」（JICA 草の根協力支援型）は2024年6月末に終了した。4月には代表の大西がJICA 横浜の担当者と共にウガンダを訪れ、2年半にわたる事業の進捗状況の確認とインパクト評価を行った。年度の後半には新たな事業「女子にやさしい教育環境のため地方政府による学校の月経衛生管理（MHM）導入支援」を立案し、2024年度 JICA 草の根協力支援型へ応募、無事に採択され、2025年度から新規事業がスタートする。

国内では2024年7月と12月に東海大学において講義を行い、約250名の学生を対象にGBNの活動紹介をした。また「山手縁乃庭 NGO マルシェ&ワークショップ」や「SDGs 多文化 CITY カフェ」などに参加し、団体の認知度向上に努めた。

2024年度も、当団体のHP、Facebook、ブログ、動画等を通じて、国際支援活動の報告などの情報発信をした。

### 3. 実施した事業内容

主な事業は「国際支援事業」、「国際交流促進事業」の2本柱であり、詳細は以下の通りである。

#### <国際支援事業>

##### 1) 「生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業」（JICA 草の根協力支援型）

- 実施期間：2021年11月1日～2024年6月28日
- 実施場所：ウガンダ共和国（ムベンデ県、ワキソ県、ブタンバラ県）
- 受益者：4,310名（生徒3,000名、教員60名、地域住民1,200名、Happy-Pad プロモーションセンターでのトレーニング受講者50名）
- 事業内容：

本事業は、女子生徒が貧困のため生理用品を所持できず、学校に通えない問題を解決するために、学校施設の整備や、MHM（月経衛生管理）教育の推進、再利用可能な生理用布ナプキンの作成など、女子生徒が生理期間中でも安心して学校に通える環境作りを目指して実施した。

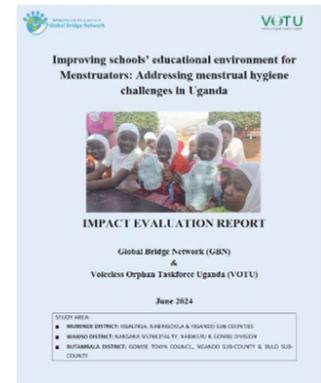
2024年度には終了時のインパクト評価を実施し、収集したデータを基に報告書を作成し、現地関係者（学校教員や地方政府等）に共有した。事業終了時のモニタリングでは、女子生徒の月経衛生管理の向上、就学率・学業成績の改善など、顕著な成功が確認され、プロジェクト目標である「対象校の女子生徒が生理期間中でも安心して通学できるようになる」を達

成することが出来た。

しかし、ミシンのメンテナンスや外部資金終了後の継続性、プロジェクトの規模拡大などが課題として挙げられた。

インパクトアセスメントの結果、以下の目標が達成された。

1. 生理期間中登校する不安感を持つ女子生徒は 90%から 38%に減少。
2. 生理が原因で欠席する女子生徒の割合は 91%から 15%に減少
3. 退学率は 33%から 18%に減少
4. 生理用布ナプキンを使用した経験のある女子生徒は 93%



■ 活動報告のリスト : <https://globalbridgenetwork.org/mhmgirlseducation/>

■ 本事業の紹介動画 :

<https://www.youtube.com/@gbnglobalbridgenetwork4808/videos>



事業終了時のモニタリング訪問

## 2) 「布ナプキンスタートアップ事業」

- 実施期間：2024年5月～2025年3月
- 実施場所：ウガンダ共和国（カンパラ市ナグル教区→ミティアナ地域に変更）
- 受益者：ナグル初等学校の女子生徒→ロードサイド初等学校の生徒と地域女性  
（12～18歳まで男女生徒60名、19～40歳まで地域の女性20名）
- 事業内容：

当初はウガンダのVLF（ビジョナリーレディ財団）と協力し、カンパラ市のナグル初等学校にミシンと材料を寄付し、生理用布ナプキン作成支援をスタートしたが、フォローアップが困難となった事情もあり、2024年4月からミティアナ地域のロードサイド初等学校にて新たな事業をスタートした。5月から同校の生徒・女性を対象に月経衛生管理（MHM）啓発や布ナプキン作成トレーニング等の具体的な活動が始まった。再利用可能な生理用ナプキン作成の知識と技術を持って、彼らの生活を変え、学校生活を持続できるようにすることを目的としている。

◆報告詳細は下記参照

- [ミティアナ地域で布ナプキン作成開始！ 2024年5-6月活動報告](#)
- [ミティアナ地域で布ナプキン作成事業！ 2024年7-10月活動報告](#)
- [ミティアナ地域で布ナプキン作成事業！ 2024年11-12月活動報告](#)



ロードサイド初等学校での活動の様子

## 3) 他団体との連携

ウガンダのカセセ県にある3団体からの協力の提案を受け、2024年に代表の大西がウガンダを訪問した際に3団体と会合した。GBNとして直ぐの支援は難しいため、まずは同県の3団体で協働して学校の月経衛生管理の事業をスタートすることを提案、さらにGBNが実施してきた活動のノウハウを共有した。その結果、3団体で協力し、カセセ県の初等学校14

校にて事業を実施していると報告を受けている。



3 団体との会合の様子



3 団体協働で実施している月経衛生管理の事業の様子

## <国際交流促進事業>

### 1) 情報発信

ウェブサイト、Facebook、ブログ、Syncable（寄附サイト）、YouTube などを活用して、現地の状況や活動成果を日本語・英語で発信した。広報活動を通じて支援者や会員の増加を目指したが、新たな会員獲得には至らなかった。引き続き広報活動を強化し、会員獲得を目指したい。

- 日本語版ウェブサイト：<https://globalbridgenetwork.org/>
- 英語版ウェブサイト：<https://globalbridgenetwork.org/en/>

## 2) 活動紹介

### 2-1) 東海大学での1コマ講師

2024年7/10、12/11に、東海大学国際学部の学生（1-2年生）約250名を対象に、ウガンダでの月経衛生管理に関する問題と取組について講義を行った。感想文を通じて多くの学生が活動について理解を深めたことがわかった。その中で、日本でも性教育、月経に関しては未だにオープンに話されていない現状や、男子学生は生理について知る機会が乏しく、日本でも正しく理解しているとは言い難い、ウガンダに限らず、男性も女性の生理について知ることが大事ではないかというコメントが男子生徒からも寄せられた。

このような国際協力を志す学生に講義する貴重な機会を通して、自分にも何か出来ないか真摯に受け止めてくれた学生も居たことをとても嬉しく思う。

#### ◆報告詳細は下記参照

- [東海大学での出前授業（2024年12月11日）](#)
- [東海大学での出前授業 -質問への補足説明](#)
- [東海大学での出前授業（2024年7月10日）](#)



1回目の授業の様子



2回目の授業の様子

### 2-2) 山手縁乃庭 NGO マルシェ&ワークショップ

2024年12月15日（日）11:00-17:00にて山手縁乃庭（<https://en-no-ba.com>）のマルシェにて、GBNの活動やウガンダの現状についてお話をさせていただきました。

### 2-3) SDGs 多文化 CITY カフェ

2025年3月15日（土）11:00-17:30にて横浜の泰生ポーチフロントにて『アフリカの真

珠 『ウガンダ～女子の教育支援と恵みのコーヒー～』をテーマとしたイベントを実施した。ウガンダの魅力や生理で学校に行けなくなる女子学生の問題に関する活動紹介、ウガンダで長年実施している自然栽培で育てたコーヒービジネスのお話や ZOOM を通じた現地との交流が行われた。

◆報告詳細は下記参照

[【イベント報告】SDGs 多文化 CITY カフェ\\_『アフリカの真珠 ウガンダ～女子の教育支援と恵みのコーヒー～』 \(2025年3月15日\)](#)

当日はアフリカグッズと共にクリスタルコーヒーの販売をした。自然栽培で作られた無農薬・無施肥栽培コーヒー豆 100%なので、安心安全な美味しいコーヒーであるが、販路が広がればそれだけ現地の支援にもなる。

GBN としては、是非ともこの素晴らしいコーヒーをより多くの人に知ってほしいと考えている。



## 貸借対照表

NPO法人GlobalBridgeNetwork  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2025年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	85,480		
普通預金	2,663,337		
現金・預金計	2,748,817		
流動資産合計		2,748,817	
資産合計			2,748,817
		《負債の部》	
【流動負債】			
役員借入金		1,007,175	
流動負債合計		1,007,175	
負債合計			1,007,175
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		395,305	
当期正味財産増減額	1,346,337		
正味財産合計			1,741,642
負債及び正味財産合計			2,748,817